

平成25年度東京都病院会計決算審査意見書

第1 審査の概要

- 1 審査の対象 平成25年度東京都病院会計
- 2 対象局 病院経営本部
- 3 審査の方法

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

あわせて、事業運営について、経済性の発揮及び公共性の確保の観点からも審査を実施した。

- 4 審査の期間 平成26年6月3日から同年9月4日まで

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された病院会計の決算諸表は、前記の方法により審査した限りにおいて、病院事業の経営成績及び財政状態を、適正に表示しているものと認められる。

2 事業運営について

当年度の病院事業は、普通病院6、小児病院1、精神科病院1の計8病院において、病床数4,992床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院155万8,248人、外来191万6,460人である。

これを前年度と比較すると、入院では5,955人、外来では1万7,760人、それぞれ増加している。この要因は、再編整備を行った松沢病院が年間を通じて本格稼動したことなどによるものである。

損益の状況は、総収益1,577億余円に対し、総費用1,532億余円であり、差引き45億余円の純利益となっている。

資産及び負債・資本の状況は、資産2,697億余円、負債195億余円及び資本2,502億余円となっている。

経営状況は、医業収益の増加及び土地の有償所管換による特別利益などを計上していることから、前年度は1億余円の純損失であったものの、当年度は45億余円の純利益となり、改善されている。

一方、再編整備に伴い高水準にある減価償却費は、墨東病院の建物付帯設備の一部の償却が終了したことなどにより前年度と比較して2億余円減少しているものの、今後、新たに建設した墨東病院新棟の償却開始により、増加が見込まれる。

このことから、病院経営本部が継続的かつ安定的に行政的医療を提供するためには、これまで

強化してきた医療機能を最大限有効活用して、収支の更なる改善を図り、経営基盤を強化していく必要がある。

第3 経営状況の概要

1 経営成績について

(1) 事業実績について

ア 入院患者実績について

入院患者実績は、表1のとおり、155万8,248人であり、前年度(155万2,293人)と比較して5,955人(0.4%)増加している。これは主に、再編整備を行った松沢病院が年間を通じて本格稼動したことによるものである。

(表1) 入院患者の実績比較表

(単位：床、人、%)

区分	平成25年度			平成24年度			増(△)減			
	病床数	一日当たり	年延べ (A)	病床数	一日当たり	年延べ (B)	病床数	一日当たり	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	3,553	3,023	1,103,509	3,553	3,062	1,117,712	0	△ 39	△ 14,203	△ 1.3
広尾	476	363	132,812	476	374	136,629	0	△ 11	△ 3,817	△ 2.8
大塚	500	407	148,496	500	431	157,318	0	△ 24	△ 8,822	△ 5.6
駒込	801	678	247,514	801	674	246,038	0	4	1,476	0.6
墨東	729	644	234,890	729	652	238,164	0	△ 8	△ 3,274	△ 1.4
多摩総合	751	685	250,011	751	683	249,063	0	2	948	0.4
神経	296	246	89,786	296	248	90,500	0	△ 2	△ 714	△ 0.8
小児病院										
小児総合	549	449	163,595	549	453	165,309	0	△ 4	△ 1,714	△ 1.0
精神科病院										
松沢	890	797	291,144	890	738	269,272	0	59	21,872	8.1
合計	4,992	4,269	1,558,248	4,992	4,253	1,552,293	0	16	5,955	0.4

(注) 1 病床数は、予算定床数である。

2 一日当たり患者数は、年延べ患者数を暦日で除したものである。

病床種別の病床数及び病床利用率は、表2のとおりである。予算における病床数は、4,992床であり、前年度(4,992床)と同数である。

病床利用率は、85.5%であり、前年度(85.2%)と比較して0.3ポイント上昇している。

(表2) 病床種別の病床数及び病床利用率比較表

(単位：床、人、%)

区 分	平成25年度 (A)				平成24年度 (B)				増 (△) 減 (C)=(A)-(B)			
	病床数	一日当たり	年延べ	利用率	病床数	一日当たり	年延べ	利用率	病床数	一日当たり	年延べ	利用率
普通病床	3,802	3,274	1,194,925	86.1	3,802	3,322	1,212,410	87.4	0	△ 48	△ 17,485	△ 1.3
精神病床	1,090	971	354,510	89.1	1,090	906	330,836	83.2	0	65	23,674	6.0
結核病床	60	24	8,738	39.9	60	25	9,023	41.2	0	△ 1	△ 285	△ 1.3
感染症病床	40	0	75	0.5	40	0	24	0.2	0	0	51	0.3
合 計	4,992	4,269	1,558,248	85.5	4,992	4,253	1,552,293	85.2	0	16	5,955	0.3

(注) 1 病床数は、予算定床数である。

2 病床利用率は、年延べ患者数を病床数×暦日で除したものである。

3 精神病床は広尾・墨東・多摩総合・小児総合・松沢に、結核病床は多摩総合・小児総合に、感染症病床は駒込・墨東に設置している。

イ 外来患者実績について

外来患者実績は、表3のとおり、191万6,460人であり、前年度(189万8,700人)と比較して1万7,760人(0.9%)増加している。これは主に、再編整備を行った4病院(駒込病院、多摩総合医療センター、小児総合医療センター、松沢病院)において、患者数がそれぞれ増加したことによるものである。

(表3) 外来患者の実績比較表

(単位：人、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 (△) 減		
	一日当たり	年延べ (A)	一日当たり	年延べ (B)	一日当たり	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	5,430	1,596,351	5,446	1,595,714	△ 16	637	0.0
広尾	737	216,675	741	217,111	△ 4	△ 436	△ 0.2
大塚	837	246,078	859	251,609	△ 22	△ 5,531	△ 2.2
駒込	1,160	340,880	1,143	335,068	17	5,812	1.7
墨東	1,146	336,960	1,163	340,747	△ 17	△ 3,787	△ 1.1
多摩総合	1,534	451,100	1,523	446,323	11	4,777	1.1
神経	16	4,658	17	4,856	△ 1	△ 198	△ 4.1
小児病院							
小児総合	678	199,183	665	194,874	13	4,309	2.2
精神科病院							
松沢	411	120,926	369	108,112	42	12,814	11.9
合 計	6,519	1,916,460	6,480	1,898,700	39	17,760	0.9

(注) 一日当たり患者数は、年延べ患者数を診療日数(平成25年度294日、平成24年度293日)で除したものである。

(2) 経営成績について

経営成績は、表4(詳細は、別表1比較損益計算書)のとおりである。

医業損失は、148億余円であり、前年度(155億余円)と比較して、7億余円(4.8%)

減少している。経常利益は、35億余円であり、前年度（28億余円）と比較して、6億余円（24.4%）増加している。

この結果、前年度は1億余円の純損失であったものの、当年度は45億余円の純利益となった。

（表4）経営成績比較表

（単位：百万円、%）

区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増（△）減	
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医 業 収 益	129,191	127,858	1,333	1.0
医 業 費 用	144,012	143,426	585	0.4
医 業 損 失	14,820	15,567	△ 747	△ 4.8
医 業 外 収 益	24,411	24,659	△ 247	△ 1.0
医 業 外 費 用	6,055	6,249	△ 194	△ 3.1
経 常 利 益	3,536	2,842	694	24.4
特 別 利 益	4,187	6	4,180	—
特 別 損 失	3,210	2,965	244	8.3
純 損 益	4,512	△ 117	4,630	—

ア 収益について

総収益は、表5のとおり、1,577億余円であり、前年度（1,525億余円）と比較して、52億余円（3.5%）増加している。これは主に、医業収益が13億余円増加していることに加え、特別利益が41億余円増加していることによるものである。

医業収益は1,291億余円であり、前年度（1,278億余円）と比較して、13億余円（1.0%）増加している。これは主に、入院収益が10億余円、外来収益が10億余円それぞれ増加したことによるものである。入院収益の増加は、入院患者数が増加したこと及び平均在院日数の短縮化などにより一人当たり入院単価が増加したことによるものである。外来収益の増加は、外来患者数及び外来診療単価がともに増加したことによるものである。

医業外収益は244億余円であり、前年度（246億余円）と比較して、2億余円（1.0%）減少している。

(表5) 収益比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増(△)減	
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業収益	129,191	127,858	1,333	1.0
入院収益	79,193	78,136	1,057	1.4
外来収益	27,974	26,936	1,038	3.9
一般会計負担金	20,106	20,895	△ 789	△ 3.8
その他医業収益	1,917	1,890	26	1.4
医業外収益	24,411	24,659	△ 247	△ 1.0
受取利息及配当金	3,024	3,104	△ 80	△ 2.6
一般会計負担金	1,175	1,255	△ 79	△ 6.4
一般会計補助金	17,772	17,738	34	0.2
国庫補助金	375	341	33	9.9
その他医業外収益	2,063	2,218	△ 155	△ 7.0
特別利益	4,187	6	4,180	—
総収益	157,791	152,524	5,266	3.5

一般会計からの繰入金は、表6のとおり、390億余円であり、前年度(398億余円)と比較して、8億余円減少している。これは主に、松沢病院の収支が改善したことにより、精神科病院運営経費に係る一般会計負担金が11億余円減少したことによるものである。

(表6) 一般会計繰入金内訳比較表

(単位：百万円)

区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増(△)減 (C)=(A)-(B)
一般会計負担金	21,282	22,151	△ 869
医業収益	20,106	20,895	△ 789
救急医療経費	6,279	5,747	532
精神科病院運営経費	9,694	10,893	△ 1,199
小児医療経費	2,747	2,734	12
保健衛生行政経費	1,385	1,519	△ 134
医業外収益	1,175	1,255	△ 79
建設又は改良に要する経費	1,175	1,255	△ 79
一般会計補助金	17,772	17,738	34
医業外収益	17,772	17,738	34
高度医療経費	8,816	9,073	△ 257
特殊医療経費	8,078	7,747	331
建設又は改良に要する経費	877	917	△ 39
合 計	39,055	39,890	△ 834

(注) 一般会計繰入金は、関係経費(給与費、材料費等経費)から関係収入(入院・外来収益、国庫補助金等)を控除した額を対象としている。

イ 費用について

総費用は、表7のとおり、1,532億余円であり、前年度（1,526億余円）と比較して、6億余円（0.4%）増加している。

医業費用は、1,440億余円であり、前年度（1,434億余円）と比較して、5億余円（0.4%）増加している。これは主に、退職給与金の減少により給与費が2億余円、墨東病院の建物付帯設備の一部の償却が終了したことにより減価償却費が2億余円それぞれ減少したものの、駒込病院、多摩総合医療センター及び小児総合医療センターの委託料など経費が10億余円増加したことによるものである。

医業外費用は、60億余円であり、前年度（62億余円）と比較して、1億余円（3.1%）減少している。

特別損失は、32億余円であり、これは、旧府中病院及び松沢病院の旧病棟の解体により固定資産の除却が発生したことによるものである。

なお、給与費、職員数等については、表8のとおりである。

（表7）費用比較表

（単位：百万円、%）

区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増(△)減	
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業費用	144,012	143,426	585	0.4
給与費	70,619	70,904	△ 285	△ 0.4
材料費	12,834	12,763	70	0.6
経費	45,406	44,383	1,023	2.3
減価償却費	13,989	14,223	△ 234	△ 1.6
資産減耗費	161	179	△ 17	△ 10.0
研究研修費	1,000	971	29	3.0
医業外費用	6,055	6,249	△ 194	△ 3.1
支払利息及企業債取扱諸費	2,053	2,173	△ 119	△ 5.5
繰延勘定償却	712	727	△ 14	△ 2.0
雑支出	3,289	3,349	△ 59	△ 1.8
特別損失	3,210	2,965	244	8.3
総費用	153,278	152,641	636	0.4

(表8) 給与費明細比較表

(単位：百万円)

区 分	平成25年度	平成24年度	増(△)減
給料	25,360	25,277	82
手当	25,279	25,287	△ 7
法定福利費	9,336	9,379	△ 42
計	59,976	59,944	32
職員数	6,536人	6,602人	△ 66人
平均年齢	40歳8月	40歳6月	0歳2月
職員一人当たり給与費	7,619千円	7,576千円	43千円

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。また、職員数には、再任用短時間勤務者（平成25年度141人、平成24年度151人）を含む。

2 職員一人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

3 職員は、全て損益勘定部門に所属している。

事業の収益性を示す経営指標は、表9のとおりである。当年度は、医業収益の伸びが医業費用の伸びを上回ったことにより、全ての項目において、前年度より改善している。自己収支比率については、1.1ポイント改善し、76.3%となっている。

(表9) 経営比率の推移

(単位：%)

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	算 式
経営資本 営業利益率	△ 10.1	△ 10.0	△ 8.1	△ 6.9	△ 6.4	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益 営業利益率	△ 22.3	△ 20.5	△ 16.4	△ 12.2	△ 11.5	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総費用対 総収益比率	92.1	99.7	101.6	100.1	97.1	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支比率	67.0	69.3	72.6	75.2	76.3	$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}}$

(注) 自己収支比率＝病院事業収益（一般会計繰入金及び特別利益を除く。）÷病院事業費用（特別損失を除く。）

2 財政状態について

(1) 資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表10のとおりである。

資本的収入は、70億余円であり、前年度（70億余円）とほぼ同額である。これは、一般

会計出資金が20億円（50％）減少したものの、国庫補助金が19億余円、その他資本収入が1億余円それぞれ増加したことなどによるものである。

資本的支出は、140億余円であり、前年度（109億余円）と比較して、31億余円（29.2％）増加している。これは主に、建設改良費が30億余円（49.7％）増加したことによるものである。

資金収支の状況は、表11のとおり、資本的収支資金不足額は、77億余円となっており、これを損益勘定留保資金等で補填した結果、当年度資金剰余額は、121億余円となっている。

なお、当年度末における資金残高は、表12のとおりである。

（表10）資本的収支比較表

（単位：百万円、％）

区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増(△)減		
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100	
資本的 収入	企業債	2,839	3,052	△ 212	△ 7.0
	国庫補助金	1,971	0	1,971	—
	固定資産売却収入	84	0	84	—
	その他資本収入	170	1	169	—
	一般会計出資金	2,000	4,000	△ 2,000	△ 50
	計	7,067	7,054	12	0.2
資本的 支出	建設改良費	9,149	6,110	3,038	49.7
	企業債償還金	4,950	4,802	147	3.1
	計	14,099	10,912	3,186	29.2
差引資本的収支	△ 7,032	△ 3,858	△ 3,173	82.2	

(表 1 1) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	14,099	資本的収入 (B)	7,067
翌年度繰越工事資金 (C)	694	前年度繰越工事資金 (D)	15
計 (E)=(A)+(C)	14,793	計 (F)=(B)+(D)	7,082
		資本的収支資金不足額 (G)=(F)-(E)	7,711
		< 補填財源内訳 >	
		当期純利益	4,512
		年賦未収金	735
		不動産信託受益権	△ 3,003
		損益勘定留保資金	17,565
		(減価償却費)	13,989
		(繰延勘定償却)	712
		(企業債発行差金)	1
		(固定資産除却費等)	2,861
		消費税資本的収支調整額等	20
		計 (H)	19,830
収益的収支資金剰余額 (I)=(H)	19,830		
当年度資金剰余額 (J)=(I)-(G)	12,118		
合計 (E)+(J)	26,912	合計 (F)+(H)	26,912

(表 1 2) 年度末資金残高表

(単位：百万円)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
流動資産 (A)	83,723	76,560	78,831	68,313	82,253
流動負債 (B)	48,953	40,564	41,548	18,435	19,578
年度末資金残高 (A-B)	34,770	35,996	37,283	49,877	62,675

(2) 資産及び負債・資本について

当年度末の資産及び負債・資本の状況は、別表 2 比較貸借対照表のとおりである。

資産合計は、2,697億余円で、前年度(2,622億余円)と比較して、75億余円(2.9%)増加している。これは主に、固定資産が60億余円減少したものの、流動資産が139億余円増加したことによるものである。

固定資産の減少は、主に、旧府中病院及び松沢病院の旧病棟を除却したことなどにより、有形固定資産が66億余円減少したことによるものである。

流動資産の増加は、主に、旧梅ヶ丘病院敷地の一部を一般会計に有償所管換したことなどに

より現金預金が79億余円、一般会計の出納整理期間（平成26年4月及び5月）に収入される一般会計補助金等に係る医業外未収金などの未収金が59億余円それぞれ増加したことによるものである。

負債合計は、195億余円であり、前年度（184億余円）と比較して、11億余円（6.2%）増加している。これは主に、未払金が11億余円増加したことによるものである。

未払金の増加は、主に、墨東病院の新棟建設により建設改良未払金が11億余円増加したことによるものである。

資本合計は、2,502億余円であり、前年度（2,437億余円）と比較して、64億余円（2.6%）増加している。これは、墨東病院の新棟建設のための国庫補助金などにより資本剰余金が20億余円増加したほか、利益剰余金も45億余円増加したことによるものである。

次に、有利子負債及び支払利息等の状況は、表13のとおりであり、有利子負債は、21億余円減少している。

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表14のとおりであり、現金預金及び利益剰余金の増加などにより、全ての項目において、改善している。

（表13）有利子負債及び支払利息等の状況

（単位：百万円）

区 分		平成25年度末 残高 (A)	平成25年度		平成24年度末 残高 (B)	増(△)減 (A)-(B)
			増 加	減 少		
有利子負債	企業債	124,004	2,841	4,950	126,113	△ 2,109
区 分		平成25年度支払額 (C)	平成24年度支払額 (D)		増(△)減 (C)-(D)	
支払利息等	支払利息及 企業債取扱諸費		2,052	2,172		△ 120

（表14）財務比率の推移

（単位：%）

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	算 式
流動比率	171.0	188.7	189.7	370.5	420.1	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	42.8	42.3	40.2	44.9	46.8	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	81.7	82.0	81.9	77.1	72.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

（注）1 自己資本＝自己資本金＋剰余金

2 長期資本＝資本金（自己資本金＋借入資本金）＋剰余金＋固定負債

3 建設改良事業について

建設改良事業は、建設改良工事、器械及備品の整備を行っており、表15のとおり、予算額116億余円に対し、決算額91億余円であり、執行率78.4%となっている。

(表15) 建設改良事業執行状況

(単位：百万円、%)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)×100	翌年度への 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)
建設改良工事	6,736	4,911	72.9	694	1,129
器械及備品	4,936	4,237	85.8	0	698
計	11,672	9,149	78.4	694	1,828

(1) 建設改良工事について

建設改良工事は、予算額67億余円に対し、決算額49億余円となっている。

工事の主なものは、墨東病院の病棟等改築工事(28億余円)、松沢病院の再編整備(7億余円)である。

執行率は72.9%となっているが、これは、不用額が都立病院の建物維持補修等の執行残などにより11億余円生じたことによるものである。

(2) 器械及備品の整備について

器械及備品の整備は、予算額49億余円に対し、決算額42億余円となっている。

整備購入した医療器械は、墨東病院の高精度放射線治療システム外148件(13億余円)、駒込病院の磁気共鳴断層撮影装置外92件(7億余円)などである。

執行率は85.8%となっているが、これは、不用額が医療器械等整備の執行残などにより6億余円生じたことによるものである。

(別表1) 比較損益計算書

(単位：円、%)

科 目	平成25年度	平成24年度	増 (△) 減	
	金 額 (A)	金 額 (B)	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
医業収益	129,191,993,989	127,858,580,908	1,333,413,081	1.0
入院収益	79,193,244,360	78,136,005,419	1,057,238,941	1.4
外来収益	27,974,878,100	26,936,451,883	1,038,426,217	3.9
一般会計負担金	20,106,342,000	20,895,421,000	△ 789,079,000	△ 3.8
その他医業収益	1,917,529,529	1,890,702,606	26,826,923	1.4
医業費用	144,012,139,973	143,426,223,341	585,916,632	0.4
給与費	70,619,154,888	70,904,683,262	△ 285,528,374	△ 0.4
材料費	12,834,438,755	12,763,823,366	70,615,389	0.6
経費	45,406,571,611	44,383,155,332	1,023,416,279	2.3
減価償却費	13,989,826,383	14,223,952,638	△ 234,126,255	△ 1.6
資産減耗費	161,315,933	179,187,789	△ 17,871,856	△ 10.0
研究研修費	1,000,832,403	971,420,954	29,411,449	3.0
医業損失	14,820,145,984	15,567,642,433	△ 747,496,449	△ 4.8
医業外収益	24,411,938,209	24,659,295,543	△ 247,357,334	△ 1.0
受取利息及配当金	3,024,482,036	3,104,499,785	△ 80,017,749	△ 2.6
一般会計負担金	1,175,927,000	1,255,892,000	△ 79,965,000	△ 6.4
一般会計補助金	17,772,950,000	17,738,775,000	34,175,000	0.2
国庫補助金	375,416,012	341,474,396	33,941,616	9.9
その他医業外収益	2,063,163,161	2,218,654,362	△ 155,491,201	△ 7.0
医業外費用	6,055,207,871	6,249,540,848	△ 194,332,977	△ 3.1
支払利息及企業債取扱諸費	2,053,123,901	2,173,008,277	△ 119,884,376	△ 5.5
繰延勘定償却	712,620,151	727,372,117	△ 14,751,966	△ 2.0
雑支出	3,289,463,819	3,349,160,454	△ 59,696,635	△ 1.8
経常利益	3,536,584,354	2,842,112,262	694,472,092	24.4
特別利益	4,187,091,543	6,677,075	4,180,414,468	—
特別損失	3,210,773,011	2,965,987,829	244,785,182	8.3
当年度純損益	4,512,902,886	△ 117,198,492	4,630,101,378	—
前年度繰越欠損金	2,431,027,267	2,313,828,775	117,198,492	5.1
当年度未処分利益剰余金	2,081,875,619	△ 2,431,027,267	4,512,902,886	△ 185.6

(別表2) 比較貸借対照表

(単位：円、%)

科 目	平成25年度		平成24年度		増 (△) 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
固定資産	181,908,067,719	67.4	187,910,209,557	71.7	△ 6,002,141,838	△ 3.2
有形固定資産	153,591,275,169	56.9	160,213,816,759	61.1	△ 6,622,541,590	△ 4.1
土地	976,532,003	0.4	1,061,284,929	0.4	△ 84,752,926	△ 8.0
立木	50,387,051	0.0	53,665,954	0.0	△ 3,278,903	△ 6.1
建物	120,142,152,352	44.5	127,474,398,526	48.6	△ 7,332,246,174	△ 5.8
構築物	3,653,757,451	1.4	3,645,616,413	1.4	8,141,038	0.2
器械及備品	23,843,593,333	8.8	25,610,977,023	9.8	△ 1,767,383,690	△ 6.9
車両	6,311,765	0.0	10,219,729	0.0	△ 3,907,964	△ 38.2
建設仮勘定	4,918,541,214	1.8	2,357,654,185	0.9	2,560,887,029	108.6
無形固定資産	525,589,796	0.2	711,221,101	0.3	△ 185,631,305	△ 26.1
無形固定資産	525,589,796	0.2	711,221,101	0.3	△ 185,631,305	△ 26.1
投資	27,791,202,754	10.3	26,985,171,697	10.3	806,031,057	3.0
年賦未収金	1,471,963,984	0.5	2,207,945,977	0.8	△ 735,981,993	△ 33.3
不動産信託受益権	53,826,550,075	20.0	50,822,742,976	19.4	3,003,807,099	5.9
不動産信託仮勘定	△ 27,578,564,805	△ 10.2	△ 26,119,948,756	△ 10.0	△ 1,458,616,049	5.6
その他投資	71,253,500	0.0	74,431,500	0.0	△ 3,178,000	△ 4.3
流動資産	82,253,939,917	30.5	68,313,129,831	26.1	13,940,810,086	20.4
現金預金	53,174,375,514	19.7	45,255,428,977	17.3	7,918,946,537	17.5
現金	58,324,801	0.0	64,616,649	0.0	△ 6,291,848	△ 9.7
預金	53,116,050,713	19.7	45,190,812,328	17.2	7,925,238,385	17.5
未収金	28,215,993,701	10.5	22,290,254,557	8.5	5,925,739,144	26.6
医業未収金	20,043,792,722	7.4	19,707,292,944	7.5	336,499,778	1.7
医業外未収金	5,295,657,881	2.0	223,375,742	0.1	5,072,282,139	—
その他未収金	2,876,543,098	1.1	2,359,585,871	0.9	516,957,227	21.9
貯蔵品	859,974,285	0.3	764,451,793	0.3	95,522,492	12.5
材料	847,648,241	0.3	752,224,039	0.3	95,424,202	12.7
その他貯蔵品	12,326,044	0.0	12,227,754	0.0	98,290	0.8
その他流動資産	3,596,417	0.0	2,994,504	0.0	601,913	20.1
前払金	3,596,417	0.0	2,994,504	0.0	601,913	20.1
繰延勘定	5,618,582,976	2.1	6,009,827,288	2.3	△ 391,244,312	△ 6.5
控除対象外消費税額	5,618,582,976	2.1	6,009,827,288	2.3	△ 391,244,312	△ 6.5
控除対象外消費税額	5,618,582,976	2.1	6,009,827,288	2.3	△ 391,244,312	△ 6.5
資産合計	269,780,590,612	100	262,233,166,676	100	7,547,423,936	2.9

(注) 有形固定資産の減価償却累計額は、平成25年度 134,165,454,396円、平成24年度 133,805,747,802円である。

(単位:円、%)

科 目	平成25年度		平成24年度		増 (△) 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
流動負債	19,578,272,643	7.3	18,435,824,463	7.0	1,142,448,180	6.2
未払金	19,577,324,450	7.3	18,427,105,019	7.0	1,150,219,431	6.2
医業未払金	12,449,241,927	4.6	12,443,147,577	4.7	6,094,350	0.0
建設改良未払金	6,189,517,739	2.3	5,077,948,569	1.9	1,111,569,170	21.9
貯蔵品購入未払金	481,737,800	0.2	465,291,960	0.2	16,445,840	3.5
未払消費税及地方消費税	30,541,700	0.0	42,494,700	0.0	△ 11,953,000	△ 28.1
過誤納還付金	3,352,802	0.0	6,282,582	0.0	△ 2,929,780	△ 46.6
その他未払金	422,932,482	0.2	391,939,631	0.1	30,992,851	7.9
その他流動負債	948,193	0.0	8,719,444	0.0	△ 7,771,251	△ 89.1
預り金	905,382	0.0	1,017,993	0.0	△ 112,611	△ 11.1
その他流動負債	42,811	0.0	7,701,451	0.0	△ 7,658,640	△ 99.4
負債合計	19,578,272,643	7.3	18,435,824,463	7.0	1,142,448,180	6.2
資本金	238,263,324,813	88.3	238,372,328,136	90.9	△ 109,003,323	△ 0.0
自己資本金	114,258,823,039	42.4	112,258,823,039	42.8	2,000,000,000	1.8
借入資本金	124,004,501,774	46.0	126,113,505,097	48.1	△ 2,109,003,323	△ 1.7
企業債	124,004,501,774	46.0	126,113,505,097	48.1	△ 2,109,003,323	△ 1.7
剰余金	11,938,993,156	4.4	5,425,014,077	2.1	6,513,979,079	120.1
資本剰余金	9,857,117,537	3.7	7,856,041,344	3.0	2,001,076,193	25.5
受贈財産評価額	3,227,244,173	1.2	3,182,132,457	1.2	45,111,716	1.4
国庫補助金	6,146,200,583	2.3	4,278,454,686	1.6	1,867,745,897	43.7
その他資本剰余金	483,672,781	0.2	395,454,201	0.2	88,218,580	22.3
利益剰余金	2,081,875,619	0.8	△ 2,431,027,267	△ 0.9	4,512,902,886	△ 185.6
当年度未処分利益剰余金	2,081,875,619	0.8	△ 2,431,027,267	△ 0.9	4,512,902,886	△ 185.6
資本合計	250,202,317,969	92.7	243,797,342,213	93.0	6,404,975,756	2.6
負債・資本合計	269,780,590,612	100	262,233,166,676	100	7,547,423,936	2.9